(P.66, L.6: オンラインコースの多様性) オンラインコースは従来の講座/ $\beta/\beta/\beta$ 機構が移り//。オンラインコースは世界/中の/人が講師/ $\beta/\beta/\beta$ /がは、一人のから数ある。 従来の学校では、限分的が数の講座しか受講できない。

(P.64, L.2:生活に合わせて受講できる授業) オンラインコースの利点は*柔軟性が削みはは指点/例料は、*忙しい仕事を持つ生徒は、昼休みに、*教内が似はは事性網別に対ける。* ができる。従来の授業にはこうした柔軟性はない。

(P.64, L.5:技術が急速に高めている有効性)技術によるオンラインコースの有効性は急速に高まっている。 生徒はテレビ会議の技術を使ってグループディスカッションをすることができ、講義ビデオは何回も再生する ことができる。加えて、オンラインコースにはコミュニティーページがあることが多く、ここでは何百人もの 生徒が互いに支援し合うことができる。

(P.64, L.4: 教師の存在が与える緊張感) 生徒は教師と直接会って話さなければならないので、従来の授業で課せられる課題の方が、生徒はより真剣に取り組むだろう。オンラインコースでは、生徒はそれほど厳しく監視されていないので、コースの課題を怠りやすくなる。

(P.64, L.3:講義以外の活動がもたらす教育効果)従来の授業の利点の一つは、興味を持つ活動に参加することで生徒が学習できることだ。例えば、生徒と教師は刺激的な議論をしたり、ともに課題に取り組んだりすることができる。こうした活動は、通常講義だけで構成されるオンラインコースよりも教育効果が高い。